

## 第5回小6入試特訓を終えて

近藤塾

拝啓、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。第5回小6入試特訓を6月3日(土)と6月4日(日)に実施いたしました。お子様には各教科とも授業プリントと宿題プリントと成績記録表を配布しています。各プリントに授業プリントまたは宿題プリントと明記してあります。教科別にバインダーに挟んで整理お願いいたします。

授業の流れ・・・4回目の宿題プリントを解説し、○付けをして点数は成績記録表に記入していただきました。授業プリントは授業時間内に解いて、解説○付けを行い、点数は成績記録表に記入していただきました。

60点以上はA、50～60はB、40～50はC、それ以下はDです。

初めは点数は低くても合格点の取れる秘訣をお伝えしていきますので安心ください。

今回配布しました宿題プリントは次回の6月10日・11日の入試特訓まで頑張っ

て解いてきてください。次回入試特訓の時に解説答え合わせを行い点数を付けて成績記録表に記入していただきます。なお、国語の宿題の中に作文が入っています。国公立中学受験者は必ず作文を書いてきてください。次回提出していただき添削してアドバイスいたします。私立中受験者は作文をする必要はありません。

前期入試特訓の重点指導事項・・・算数の解き方と国語の読解のポイントに重点を置いています。理科・社会は4年・5年の復習に力を入れています。

国語について・・・国語の読解問題を解くときは鉛筆を手にもって、大事な所に線を引ながら読みましょう。説明文の時はまず文章の最初および最後に作者の主張がありますので、まず初めと最後を読んで作者の主張に線を引きましょう。もう一度初めから読み、何度も同じ主張を例を挙げながら述べてきますので、例を除いて作者の言いたいところに波線を引いていきましょう。線を引いたところが問いになっていることが多いです。物語文では登場人物をすべて口で囲ってください。登場人物の気持ちの書いてあるところは線を引ながら読みましょう。あなたが読んで心を動かされたところは波線を引ながら読みましょう。そこが設問の中心になります。必ず鉛筆を持って線を引ながら読んでください。ご父兄様へ・・・お子様の国語プリントに線は引いてありますか？線を引いて読むようにお伝えください。

算数について・・・算数の文章題は必ず線分図を書いてください。線分図の中に問題文に出てくる数値をすべて書きこみ線分図を見ながら解いてください。線分図の書き方は授業で白板に書いて説明していますのでプリントに書き写してまねてください。だんだん書き方のコツがつかめてくると思います。算数の面積の単元では徐々に面積と比の問題がこれから多く出てきますので、解説をしっかりと聞いて解き方のポイントを理解してください。ご父兄様へ・・・お子様のプリントに線分図は書き写してありますか？授業中しっかりと写すようにお伝えください。

理科・社会について・・・前期入試特訓では4・5年の復習に力を入れています。間違えた問題の説明をしっかりと聞いて忘れていたところはしっかりと覚え直してください。入試によく出るところは繰り返し出題しますのでしっかりと覚えてください。

敬具

